

クラス名 (年齢)	(こじ) 組 (5 歳児クラス)
活動日時	第 1 回 6 月 19 日 (木) 10:15 ~ 11:15
年間テーマ	音

<活動内容>

自分たちのまわりにはどんな音があるか出し合う。
楽器で音を出して楽しむ

<環境設定 (準備した物、使用した物) >

鈴 カスタネット タンブリン トライアングル シンバル 鉄琴 木琴
カリバ、たこ

<子どもの姿、声、保育者との関わり>

すくわくプログラムで「音」についてみんなでお遊んだり、知りたい事を
調べたりする活動をしていく事を話す。どんな音があるかを
好きにだけ出し合う。音楽、楽器の種類や、生活音、自然の音、乗り
物の音、動物の種類や鳴き声、など色々な音が出る。ギリギリやヒリ
ヒリなど痛い時に自分だけに聞こえる音があると言う子もいる。好きに
だけ出し続け、保育者がメモを取っていると、自分の言った事がメモされる
まで確認する子もいる。だんだんと言う事がよくなってくと、用意して
いた楽器が長くなってるので、楽器を出し時間を決めて好きにだけ
弾いたり、たたいたりする。シンバルが人気で、大きな音を聞くと「うるさい
」と言う子も、大きな音を出している。楽器以外にも出し合う、跳ぶ音や
テーブルをたたく音や壁をたたく音などたたける所を保育者と一緒にたた
いてみる。時間になり、感想を聞くと「楽しかった、つまらなかつたよ」と言う。

<振り返り、保育者の気づき、成果、課題>

子ども主体で進めていきたいが、1回目は用意した物で音を出してみた。色には楽器を鳴らして音を出し楽しそうにしていたが、子どもの声を聞くのが難しく、発見や次回につなげられそうな事は後で聞いてみた。つまり面白いと言った子も楽しんでいるように見えたが、中には、たり、こうしてみたいと鬼の気持ちを引き出していいと鬼。

<次回内容>

ゲーム、外での音、大きな声を出す音が鳴り止まるゲーム、イス取りゲームなど、音を使ったゲームがしたいと言ふ。やりたい音、聞きたい音、出したい音があったら保育者に伝える

<次回準備物>

デジタル騒音計
耳栓

クラス名 (年齢)	にじ組 (5歳児クラス)
活動日時	第2回 7月24日(木) 10:00 ~ 11:00
年間テーマ	音

<活動内容>

音を使ったゲーム
 イス取りゲーム
 目かくして音や声を聞く

<環境設定 (準備した物、使用した物) >

目かくしする物 (手ぬぐい、布、タオルなど)
 イス、ヒマ
 楽器

<子どもの姿、声、保育者との関わり>

ホールで輪になて座り、音を使うゲームは何があるか考える。
 先日やったイスカ割りにも音(声)を使ってやる事だと知らせる。みんな
 で音を使った新しいゲームを考えようと提案すると、音が鳴いたら逃げ、
 止まったら座るゲーム。目かくし鬼ごっこ、カエIV鬼ごっこなどが上がる。
 子どもたちが「考えるルールが」あつあつ成立せず尻っほみになてしま
 事が多い。部屋から布を持って来て目かくしをしてみる。「インナーは、
 やらたさいの?」と言うので、あつたさい時には知らせたさいたさい事を
 伝えると「とっか」と糸納得していた。見えなくても折きまわり、声を出
 して誰か近くにいる事を確認しようとする。保育者も「こつたさい」と声
 を出すと、追いかけて来ていた。聞こえる方向がわかった、誰の声か。
 わかった、声のする方に進むことができたなどと言っていた。

<振り返り、保育者の気づき、成果、課題>

サークルで座ってもあまり興味の持てない子がいる。すぐにゲームを始めた方がよかったのかもしれない。目にはよらず、声を聞き分けたり、方向がわかったりする経験や発見ができたのはよかった。それらを踏まえて、もう1歩、何かできることがあればよかったのかもしれない。

<次回内容>

楽器を作る。
コンサートをやる。

<次回準備物>

空き缶、ノートパソコン、ゼーズ、ゴム、ダンボール、ストロー、牛乳パック、わり箸、プラスチック。

購入
金曜日。

クラス名 (年齢)	12じ 組 (5 歳児クラス)
活動日時	第3回 10月24日(金) 10:15 ~ 11:25
年間テーマ	音

<活動内容>

楽器を作り 音を出してみる

<環境設定 (準備した物、使用した物) >

ミル缶、ペットボトル、キャップ、プラコップ、紙コップ、ストロー、アイロンビーズ、紙皿、輪ゴム、ガムテープ、ビニールテープ

<子どもの姿、声、保育者との関わり>

材料も前のテーマに並べて、譲り合って使うように伝えてから始める。急いで取りに来ると、みんなが落ち着くのを待って取りに来る子がいる。缶やペットボトル、プラコップなど入れられる物にアイロンビーズを入れている子が多い。缶の箱にアイロンビーズを入れて出て来やすいように紙やテープで止め、揺らしてみると波の音がする事を発見し、音を出した時には静かにやりみんな聞いていた。保育者が皿とキャップでカスタネットを作った時、真似をする子はなかなかできなかったが、ペットボトルに水を入れて振ってみると音がしたので、真似をして水とアイロンビーズを入れて振っている子もいる。ストローで笛を作るとうまく鳴らせる子とそうでない子がいて、鳴らせる子も保育者が吹き方を教え、鳴らせる子が増えた。でも音が大きいので「うるさい」と怒鳴る子もいた。それぞれが1つ以上完成させると、廊下に出てコンサートに向けて自主練習をしていた。曲もそこでミッキーマウスの子と決めていた。廊下のテーマには飾っておくと自分の楽器の音を出してみたり、他クラスの子に「やってもいいよ」と見守りながらやらせていた。

<振り返り、保育者の気づき、成果、課題>

アイロンボードを用いた事でマラカスを作る子が多くなってしまった。それぞれ好きなように作り、音を試めたのもしていた。友だちが作っている物も気になり音を聞かせてもらったりして真似をして作ったり作り方を教えてあげる事もできていた。はじめは「つづつ作る」と話したが、楽しんでたようで、もっと作りたいと言うのでOKにした。今回は保育者が材料を用いたが、自分で何もどんな物を使ってどんな風に作りたいかを考えさせ、自分で材料を用いてもいいと思う。

<次回内容>

コンサートで楽器を披露する。

<次回準備物>

作る楽器

クラス名 (年齢)	13じ 組 (5 歳児クラス)
活動日時	第4回 11月11日(火) 10:30~11:00
年間テーマ	音

<活動内容>

コンサート(弦楽器)を楽しみ、自分で作った楽器も一緒に鳴らし披露する。

<環境設定(準備した物、使用した物)>

自分で作った楽器をコンサートに持って行く。

<子どもの姿、声、保育者との関わり>

自分で作った楽器を持ってホールへ行く。イスの下や後ろに置いて弦楽器の演奏を聞く。はじめのLet it goは静かによく聞いていた。歌えるが歌う子はいけなかった。その後のツバメやアロハ・エ・コモ・マイは踊れる曲なので、体を止める事ができず、座りながら踊っていた。楽器のクイズで、バイオリンなどの中には空長が入っている事、ピアノの鍵盤は昔象牙でできていた事、バイオリンとチェロの弓はバイオリンの方が長い事などを教えてもらった。ミッキーマウスマーチを聞いてから、演奏者の方と一緒に前に立ち、楽器を演奏した。少し緊張しているようだったが、演奏するのは楽しそうだった。叩いたり振ったりして演奏に合わせていた。最後は情熱大陸も近くまで来て弾いてくれたので曲を楽しんでいた。後でどの曲がよかったかを聞いてみると、情熱大陸がよかったと答える子が多くいた。知っている曲がほとんどだったので、楽しかったようだった。

<振り返り、保育者の気づき、成果、課題>

バイオリンなどと一緒に演奏ができたので少し緊張もあったようだったが、演奏をした感じがあり、よかった。拍手をしてもらえた事もよかったと思う。音も自分で作り聞いてもらえたが、楽器をどうやって作り、どんな音が出るのかを自分の言葉で伝えられる場を作ってもよかったのではないかと思った。

<次回内容>

<次回準備物>

クラス名 (年齢)	にじ組 (5 歳児クラス)
活動日時	第 5 回 2月27日(金) 10:00 ~ 11:30
年間テーマ	音

<活動内容>

色々な楽器を弾いてみる。
楽器体験

<環境設定 (準備した物、使用した物) >

バイオリン、チェロ
その他打楽器
カホン、ギロ、ゼイグラスラップ、ウインドチャイム、トライアングル
種の殻のマラカス

<子どもの姿、声、保育者との関わり>

時間にはない、楽しみをしながらかーい行く。司会者に楽器は大切に
扱うように落としてはいけない事を言われる。1人休みだったのはじ
めは4人がバイオリンを弾き、4人が交替でチェロを弾く。緊張しな
がらも弾いてみるといい音が出ていい嬉しそうしている。バイオリンと
チェロを交替して弾く。まだ弾いていたら、たよりだが、打楽器もまた2テ
ムに分れて音を出してみる。鉄琴やカホン、ウインドチャイムやシンバルや色々
な楽器も好きはように鳴らしてみる。途中交替する。それぞれ好きな楽
器もみつけ音を出している。おもちゃのシンフォニーの模範演奏を聞いた後、
自分で選んだ楽器と一緒に演奏をする。指揮者の合図で鳴らして、止めた
りするが止める合図を見ておらず、音を出してしまうと取っかきそうにして次から
長を付けている。音を出して、止めた。また出したをがんばっている。その後、
鉄琴の演奏を聞く。最後に演奏に合わせて「にじ」を歌う。3回くり返し
て1番を歌う。これで終了だが、片付けをしながら、おっと楽器をどわたり
して先残惜しそうだが、。

<振り返り、保育者の気づき、成果、課題>

指導者がシンバルを内側から外側にバチで叩いていくと音が違ったので目を丸くして保育者の方を見ている。子どもと共演できた。色々な楽器を用意して頂き名前も知らない楽器が多かったが音は聞いた事がある物もあった。チェロやバイオリンを初めて触れる子が多かったのですぐに音を出せたのでよかった。持ち方や弓の弾き方も教えてもらい真剣に聞いてその通りに弾いたりしていた。指揮者に合わせて即興で音を出したり止めたり演奏者の一員にたり合奏を楽しめた。音を楽しみ弾いたりして音楽も楽しんでいた。終了後「バイオリン習いたい」と言う子もいた。

<次回内容>

<次回準備物>